

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
自治体経営論				三好 ゆう	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	2年次	講義	無	科目等履修
授業の概要(Course Description)					
<p>地方財政は行政サービスの実態を表す一つの指標であり、そこには地域特性（自治体の政策方針、地域住民の生活、産業構造など）が如実に表れる。一方で、地方財政は国の財政と密接な関係にありながらも、独自の理論体系をもっている。また、財政自治は、地方分権の徹底と地方自治の確立を達成する際の重要な柱の1つといえる。</p> <p>本講義では、現代財政の基礎的知識の学習も含め、地方財政のしくみを概観し、住民・企業・行政の3つの経済主体がどのように関わり合っているかを理解することを目的とする。地方財政の学修を通じて、地方自治や自治体が民主主義の土台の一つであること、自治体財政が地域活性化の重要な条件であることを理解する。</p> <p>本講義の流れは、全体像を概観したのち、個別分野ごとに特徴や課題点を確認する。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>本講義の目的は、現代財政の基礎的知識や地方財政のしくみを把握し、3つの経済主体（住民・企業・行政）の関わり合いを理解することにある。そのうえで、以下の2点を最終到達目標とする。</p> <p>(1) わが国の地方財政について、必要なキーワードを過不足なく用いて、文章で説明ができるようになること</p> <p>(2) 「決算カード」から、地域特性を読み取ることができるようになること</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第1回	第1部：自治体財政の役割	イントロダクションー市町村財政の役割			
第2回	〃	都市の財政			
第3回	〃	農村（町村）の財政			
第4回	〃	府県財政の役割			
第5回	〃	地方公営企業と第三セクター			
第6回	第2部：自治体の財源	地方税			
第7回	〃	使用料・手数料			
第8回	〃	地方債			
第9回	〃	地方交付税			
第10回	〃	国庫支出金			
第11回	第3部：国と地方の財政関係	地方財政のマクロ的位置			
第12回	〃	国と地方の事務および税財源配分			
第13回	〃	地方財政の展開			
第14回	第4部：総まとめ	地方分権の必然性と地方自治の豊富化			
第15回	〃	全体のまとめ			
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>① 毎講義の復習は、レジュメの他、参考書等を活用し、理解を深めておくこと</p> <p>② ニュースや新聞に絶えず目を向けておくこと</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
期末試験 (100%)	<p>秀：必要なキーワードを過不足なく用いて、論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘できている</p> <p>優：キーワードを用いながら論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を理解している</p> <p>良：おおよその説明はできており、かつ、問題点を理解している</p> <p>可：しくみや問題点の説明において、最低限の水準を満たしている</p> <p>不可：しくみや問題点が説明できていない</p>
テキスト (Textbook)	<p>【書名】 【著者】</p> <p>【出版社】 【出版年】</p> <p>※特になし。授業で配布するレジюмеを中心に行う。</p>
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	<p>毎講義のレジюмеの中で、適宜、参考文献を紹介する</p>
備考 (Other Information)	
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	<p>週2コマをオフィスアワーとする (事前連絡は不要)</p> <p>具体的な曜日・時限については、オフィス前に掲示しておく</p>